2.5 インチ内蔵 SSD

SHD-NSUM シリーズ

ユーザーズマニュアル

Q&A インターネットで弊社製品の Q&A 情報を入手できます。
http://buffalo.jp/qa/index.html

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品を取り扱う際に特に注意していただきたい事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... 次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

・本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
A: フロッピードライブ、C: ハードディスク

・本書に記載されているハードディスク容量は、1GB = 1000^3byte で計算しています。OS やアプリケーションでは、1GB = 1024^3byte で計算されているため、表示される容量が異なります。

・文中［　］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

・文中 < > で囲んだ名称は、キーボード上のキーを表しています。(例)<Enter>

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

目次

1 ご使用になる前に

本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。必ずお読みください。

本書の構成

本書は次のような構成になっています。

作業のながれ

本製品のセットアップは、次の手順で行います。

Windows

パソコンの環境を本製品へ移行する ―― 「2 環境の移行 (Windows のみ)」【P5】参照

▼

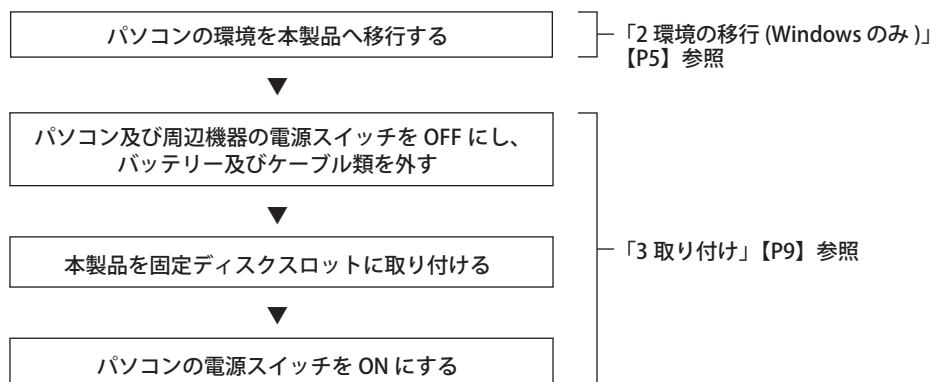
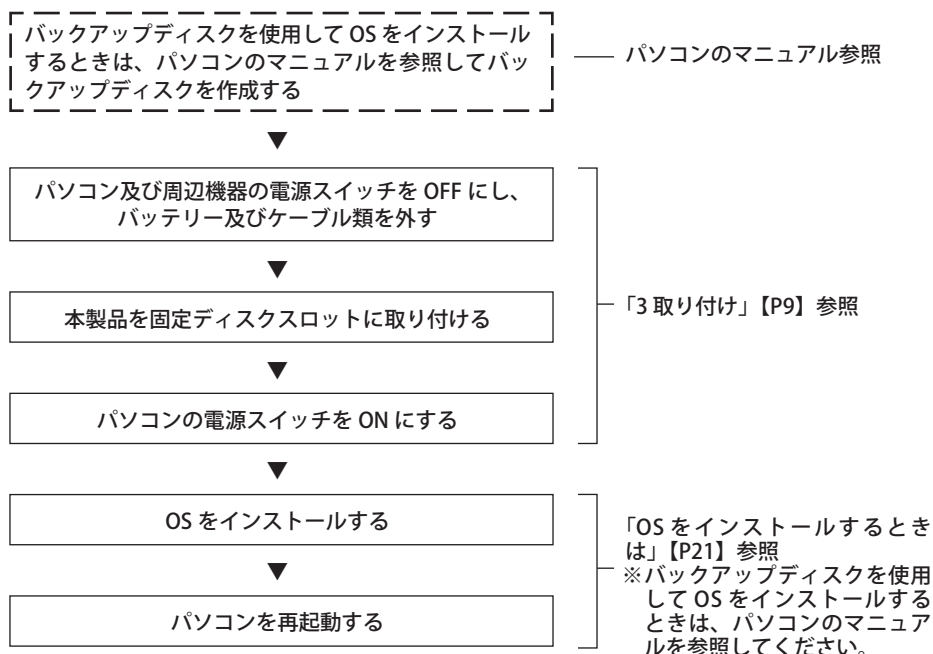
パソコン及び周辺機器の電源スイッチを OFF にし、バッテリー及びケーブル類を外す

▼

本製品を固定ディスクスロットに取り付ける

▼

パソコンの電源スイッチを ON にする

（上記 3 項目：「3 取り付け」【P9】参照）

Macintosh

2 環境の移行 (Windows のみ)

パソコンの環境を本製品に移行する手順を説明します。

ここでは、Windows 用の付属ソフトウェア「Acronis Migrate Easy」を使って環境を移行する手順を説明します。
Macintosh の場合は、Acronis Migrate Easy を使用できませんので、パソコンのマニュアルを参照してバックアップを作成した後、「3 取り付け」(P9) へ進んでください。

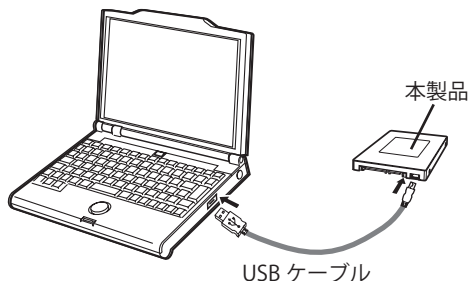
パソコンの環境を本製品へ移行する

⚠注意
- **パソコン内蔵のハードディスクより本製品の容量が小さい場合、環境を移行できません。**
- **Acronis Migrate Easy は RAID 0 構成パソコンのハードディスク環境からのバックアップは対応していません。**

パソコンの環境を本製品に移行します。以下の手順で行ってください。

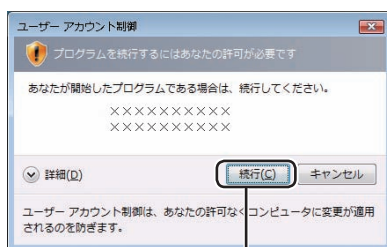
環境の移行とは？
パソコンのハードディスクに保存されたデータを、OS(Windows) ごと本製品にコピーすることです。環境移行することにより、本製品とパソコン内蔵のハードディスクを交換しても、今までどおりお使いいただけます。

1 パソコンの電源を ON にし、Windows を起動します。

2 本製品を USB ケーブルでパソコンに接続します。

次のページへ続く

3 ユーティリティー CD をパソコンにセットします。

Windows Vista をお使いの場合、ユーティリティー CD をセットすると、以下の画面が表示されることがあります。その場合は、以下の箇所をクリックしてください。

[BInst.exe の実行]をクリックします。　　[続行]をクリックします。

※画面は、お使いのパソコンによって異なることがあります。

4 簡単セットアップが起動したら、[終了] をクリックします。

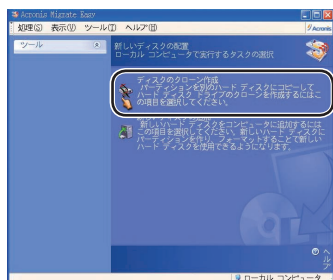
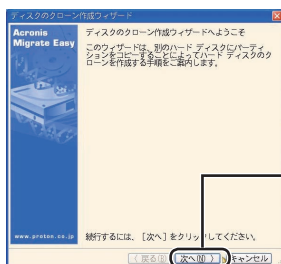
[終了] をクリックします。

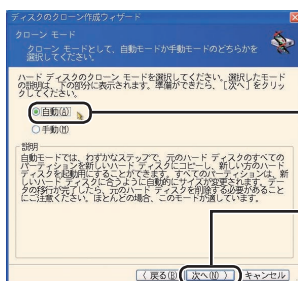
5 パソコンを再起動します。

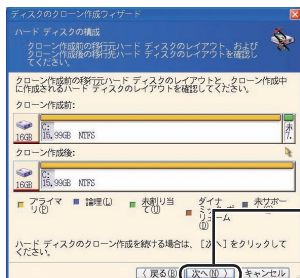
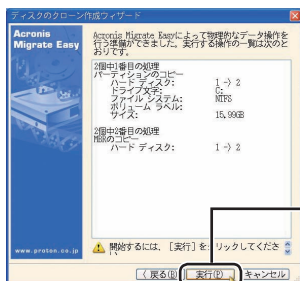
6 [Acronis Migrate Easy（完全版）] を選択します。

[Acronis Migrate Easy（完全版）] をクリックします。

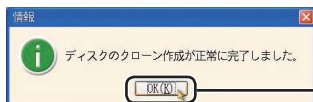
次のページへ続く

7 [ディスクのクローン作成] を選択します。

8 [次へ] をクリックします。

9 [自動] を選択し、[次へ] をクリックします。

次のページへ続く

10 コピー内容が正しいか確認し、[次へ] をクリックします。

11 [実行] をクリックします。

データのコピーが始まります。完了するまで、しばらくお待ちください。

12 「ディスクのクローン作成が正常に完了しました。」と表示されたら、[OK] をクリックします。

以上で完了です。続いて本製品をパソコンのハードディスクと交換します。次ページの「取り付け」に進んでください。

3 取り付け

本製品をパソコンに取り付ける手順の例を説明しています。

取り付け作業を行うと、パソコンメーカーの保証が受けられなくなることがあります。
本製品をパソコンに取り付ける場合、パソコンを分解する必要があります。パソコンメーカーによっては、パソコンを分解すると保証が受けられなくなくことがありますので、あらかじめご了承ください。

取り付けの前に必ずお読みください

● **パソコンや本製品は精密機器です。必ず別紙「はじめにお読みください」に記載の「安全にお使いいただくために必ずお守りください」をお読みください。**

● **パソコンの電源スイッチを OFF にする前に、すべてのアプリケーションを終了し、ハードディスクなどに記録されている大切なデータを、他のメディア（フロッピーディスクなど）に保存してください。**

● **バックアップディスクを使用して OS をインストールするときは、パソコンのマニュアルを参照してバックアップディスクを作成してください。**

● **作業を行うときは、パソコン本体のマニュアルに記載されている注意事項を必ずお守りください。**

● **取り付け作業を行う前に、パソコンの電源ケーブルや AC アダプター、バッテリー等を必ず外してください。【パソコン本体のマニュアルを参照】**
電源ケーブルや AC アダプター、バッテリー等を外さずに取り付け作業を行うと、感電する恐れがあります。

● **本製品の取り付け作業でパソコン本体や本製品を破損 / 故障した場合、パソコンメーカーや弊社では一切保証致しかねます。**
本製品の取り付け作業は、ご自身の責任で行ってください。

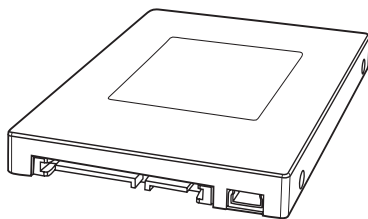
● **弊社では、パソコン本体（本製品を取り付けたパソコンを含む）に対する保証は致しかねます。**

● **静電気による破損を防ぐため、本製品やパソコン本体に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。**
人体などからの静電気は、パソコン本体や本製品を破損、またはデータを消失させる恐れがあります。

● **パソコン本体の仕様によっては、本製品の容量を全て使用できないことがあります。**
パソコンの仕様によって、使用できる容量に制限があることがあります。お使いのパソコンが本製品の容量に対応しているかは、パソコンメーカーにお問い合わせください。

● **次の物を用意してください。**
・パソコンと周辺機器のマニュアル
・ドライバーなどの工具

取り付け手順例

本製品は、パソコン（DOS/V、Macintosh）に取り付けることができます。パソコンのマニュアルを参照して取り付けてください。また、ここでも取り付け手順の例を記載していますので、参考にしてください。

DOS/V パソコンの場合............... P11 を参照して取り付けてください。

Macintosh の場合........................ P12 を参照して取り付けてください。

取り付け手順は、お使いのパソコンによって異なります。
本書で紹介している取り付け手順は一例です。お使いのパソコンによっては手順が異なりますので、あらかじめご了承ください。なお、本書の記載内容に従って作業を行いパソコンや本製品が破損 / 故障した場合であっても、弊社は一切の保証を致しかねます。

パソコンメーカーおよび弊社への取り付け手順に関するお問い合わせはご遠慮ください。
弊社では、パソコンへの取り付け方法に関するお問い合わせを承っておりません。また、パソコンメーカーへのお問い合わせもご遠慮ください。

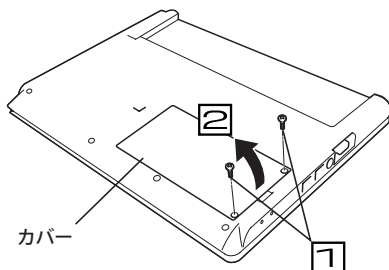
DOS/V パソコンへの取り付け手順例

東芝社製「dynabook PX/820LL」での取り付け手順の例を説明します。

1 **パソコンの電源を OFF にした後、パソコンのマニュアルを参照して、電源ケーブルや AC アダプター、バッテリー等を取り外します。**

2 **パソコンのマニュアルを参照して、パソコンのカバーを開きます。**

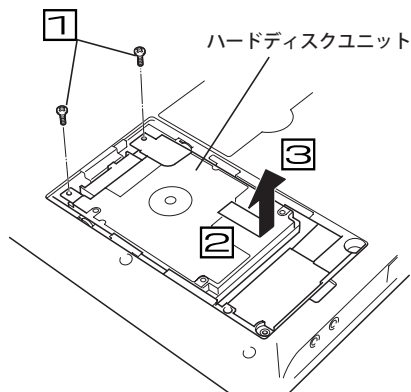
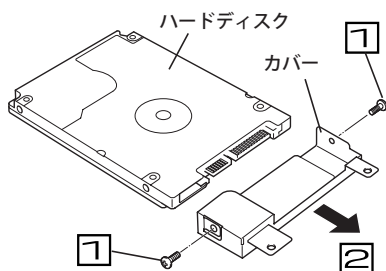
1 ネジを外す

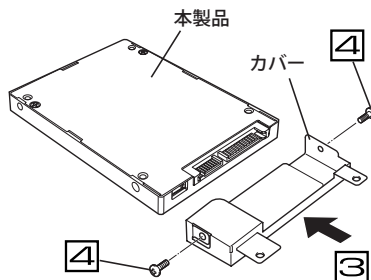
2 カバーを外す

3 **ハードディスクユニットを取り外します。**

⚠注意 **コネクターに無理な力が加わらないように注意して、取り外してください。**

1 ネジを外す

2 ハードディスクユニットを引き抜く

3 ハードディスクユニットを取り外す

4 **ハードディスクを本製品に交換します。**

1 ネジを外す

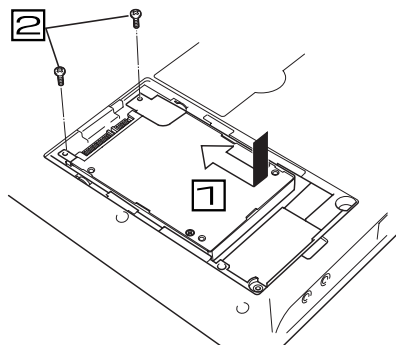
2 ハードディスクからカバーを取り外す

3 本製品にカバーを取り付ける

4 本製品をネジ止めする

次のページへ続く

5 本製品をパソコンに取り付けます。

1 本製品をパソコンに接続する

2 本製品をパソコンにネジ止めする

6 パソコンのカバー、バッテリー、電源ケーブルや AC アダプターの順にパソコンに取り付けます。

取り外した手順と逆の手順で取り付けてください。

以上で取り付けは完了です。

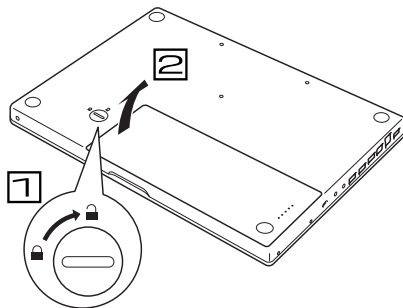
Macintosh への取り付け手順例

Apple 社製「MacBook MB062J/A」での取り付け手順の例を説明します。

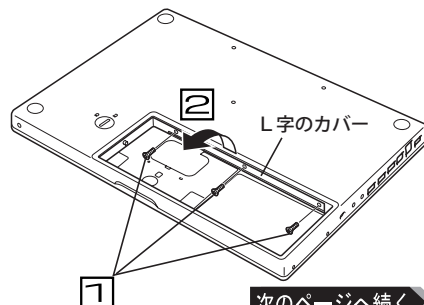
1 パソコンの電源を OFF にした後、電源ケーブルや AC アダプターを取り外します。

2 パソコンのマニュアルを参照して、パソコンのバッテリーを取り外します。

1 ロックを外す

2 バッテリーを取り外す

3 L 字のカバーを取り外します。

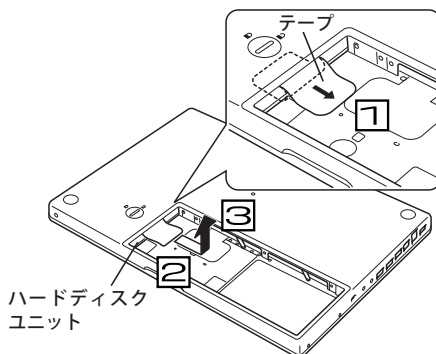
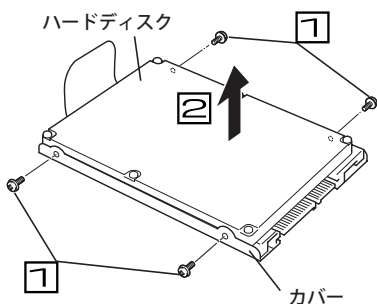
1 ネジを外す

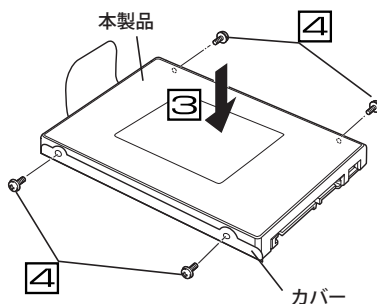
2 L 字のカバーを取り外す

次のページへ続く

4 ハードディスクユニットを取り外します。

1 テープを引き出す

2 テープを引っ張ってハードディスクユニットを引き抜く

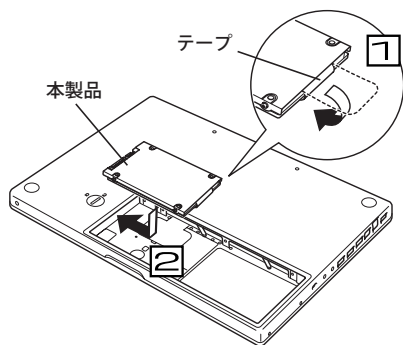
3 ハードディスクユニットを取り外す

5 ハードディスクを本製品に交換します。

1 ネジを外す

2 ハードディスクをカバーから取り外す

3 本製品をカバーに取り付ける

4 本製品をネジ止めする

6 本製品をパソコンに取り付けます。

1 テープを本製品に巻き込む

2 本製品をパソコンのコネクターに接続する

7 パソコンのカバー、バッテリー、電源ケーブルや AC アダプターの順にパソコンに取り付けます。

取り外した手順と逆の手順で取り付けてください。

以上で取り付けは完了です。

4 付録

バックアップ

バックアップの必要性

ハードディスクや本製品などに蓄えられた重要なデータを保護するために、外部のメディアにデータの複製を作成することを「バックアップ」といいます。大容量ハードディスクや本製品などには、日々大量のデータが格納されます。事故や人為的なミスなど不測の事態でデータを失うことは、業務上大きな損失となります。
Windows の場合、付属ソフトウェア「Acronis True Image LE」でバックアップを作成することができます。詳しくは、「付属ソフトウェアの概要」（P15）を参照してください。

⚠注意 **ハードディスクや本製品などを使用する場合は、定期的にバックアップを作成してください。**

バックアップ用のメディア

バックアップ用のメディアには次のようなものがあります。

・ネットワーク (LAN) サーバー　・増設ハードディスク　・Blu-ray Disc
・DVD-R/RW　・DVD+R/RW　・DVD-RAM　・CD-R/RW　・フロッピーディスク
・光磁気ディスク（MO）

大容量ハードディスクや本製品などのバックアップ先としてフロッピーディスクを選んだ場合、大量のフロッピーディスクが必要になります。また時間もかかるため、効率的な手段とはいえません。可能な限り容量の大きいメディアにバックアップすることをおすすめします。

増設ハードディスクにバックアップする場合は、そのハードディスクをバックアップ専用にすることをおすすめします。

バックアップデータの復元（リストア）

バックアップデータを元のハードディスクや本製品などに復元することをリストアといいます。リストアコマンド／ツールは、一般的にバックアップコマンド／ツールで指定されたもの以外は使用できません。マニュアルなどで確認してください。

メンテナンス（Windows のみ）

Windows 付属のツールを使用したハードディスクや本製品のメンテナンスについて説明します。

ハードディスクや本製品のエラーチェック（スキャンディスク）

Windows には、ハードディスクや本製品のエラー（異常）をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。ハードディスクや本製品を安全に使用するために、ハードディスクや本製品を定期的にチェックすることをおすすめします。

メモ エラーのチェック方法は、Windows のヘルプやマニュアルを参照してください。

付属ソフトウェアの概要（Windows のみ）

ここでは本製品に付属のソフトウェアの概要を説明します。各ソフトウェアのインストール方法は「付属ソフトウェアのインストール」（P20）を参照してください。

各ソフトウェアのマニュアル (PDF ファイル) を読むには、Acrobat Reader(または Adobe Reader) が必要です。パソコンにインストールされていないときは、付属 CD を使ってインストールしてください。使いかたについては、ヘルプファイルをご参照ください。

Acronis True Image LE

Acronis True Image LE は、バックアップを作成するソフトウェアです。Windows を起動したままバックアップを作成できます。データのバックアップだけでなく、OS のインストールされた領域のバックアップも可能です。システムの入った領域を他の領域にバックアップしておけば、システムの入った領域に何かあった場合、復旧が容易に行えます。

Acronis True Image LE は、「Acronis Migrate Easy」や「Acronis Disk Director LE」より先にインストールしてください。先にインストールしないと、正常にインストールできないことがあります。

● できること

- バックアップ（イメージ）の作成と復元
- パーティションの再配置とサイズ変更
- Windows のすべてのファイルシステム（FAT 16/32、NTFS）をサポート

● 使いかた

Acronis True Image LE のマニュアルを参照してください。Acronis True Image LE のマニュアルは、付属のユーティリティー CD をパソコンにセットしたときに表示される「簡単セットアップ」から [添付ソフトのマニュアルを見る] → [True Image LE のマニュアルを見る] の順に選択すると表示されます。

「Acronis True Image LE」の操作方法や製品情報は、下記窓口までお問い合わせください。
※株式会社バッファローでは、「Acronis True Image LE」に関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先　株式会社ラネクシー

【サポート情報】

インターネット：　http://www.runexy.co.jp/support/buffalo.html

TEL：0570-032-610(携帯電話・PHS では繋がりません)
受付時間　月～金曜日 9:00 ～ 17:00（夏季・年末年始・特定休業日・祝祭日を除く）

※ サポートセンターのご利用にはユーザー登録が必要になります。ユーザー登録をすることにより、バージョンアップ情報やその他ラネクシー製品のお得な優待販売のお知らせなどが届きます。（希望する場合のみ）

【ユーザー登録】

https://www.runexy.co.jp/support/signin.html

※ 登録後、サポートを受ける際に必要になる製品シリアルが発行されます。
※ ラネクシー社のソフトウェアと製品本体（株式会社バッファロー）のユーザー登録は別々に行う必要があります。バッファローのユーザー登録も忘れずに行ってください。

Acronis Migrate Easy

Acronis Migrate Easy は、ハードディスクに保存された内容を本製品や他のハードディスクに転送（コピー）するソフトウェアです。データの転送だけでなく、Windows の設定やメールの設定、ディレクトリー構成など、ハードディスク全体の情報をそのまま本製品や他のハードディスクに転送できます。また、本製品やコピーするハードディスクの容量に合わせてパーティションのサイズを変更でき、新しいパーティションを作成することもできます。

⚠注意
- **Acronis Migrate Easy を使用するには、本製品やハードディスク (パソコン内蔵も含む) が接続されている必要があります。パソコンにハードディスクを 2 台以上取り付けできない場合は、外付けのハードディスクをご利用ください。**
- **Acronis Migrate Easy は RAID 0 構成パソコンのハードディスク環境からのバックアップは対応していません。**

● できること

- 設定やディレクトリー構成などを変えることなく本製品や他のハードディスクへのデータ転送
- 転送したパーティションサイズの変更やパーティションの位置の移動
- 新しいパーティションの作成
- 新しい起動用ディスクまたはデータストレージデバイスの作成

● 使いかた

Acronis Migrate Easy のヘルプを参照してください。Acronis Migrate Easy インストール後に Acronis Migrate Easy のメニューから [ヘルプ]-[ヘルプ] をクリックすると表示されます。

「Acronis Migrate Easy」の操作方法や製品情報は、下記窓口までお問い合わせください。

※株式会社バッファローでは、「Acronis Migrate Easy」に関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先　株式会社ラネクシー

【サポート情報】

インターネット：　http://www.runexy.co.jp/support/buffalo.html

TEL：0570-032-610(携帯電話・PHS では繋がりません)
受付時間　月～金曜日 9:00 ～ 17:00（夏季・年末年始・特定休業日・祝祭日を除く）

※ サポートセンターのご利用にはユーザー登録が必要になります。ユーザー登録をすることにより、バージョンアップ情報やその他ラネクシー製品のお得な優待販売のお知らせなどが届きます。（希望する場合のみ）

【ユーザー登録】

https://www.runexy.co.jp/support/signin.html

※ 登録後、サポートを受ける際に必要になる製品シリアルが発行されます。

※ ラネクシー社のソフトウェアと製品本体（株式会社バッファロー）のユーザー登録は別々に行う必要があります。バッファローのユーザー登録も忘れずに行ってください。

Acronis Disk Director LE

Acronis Disk Director LE は、保存されたデータを消すことなくパーティションのサイズを変更したり、コピーしたり、移動することができるソフトウェアです。また、新しいパーティションを作成し、フォーマットすることもできます。

● できること

・ パーティションの作成
・ パーティションのサイズを変更やパーティションを移動
・ パーティションの内容の移動
・ パーティションの削除

● 使いかた

Acronis Disk Director LE のマニュアルを参照してください。Acronis Disk Director LE のマニュアルは、付属のユーティリティー CD をパソコンにセットしたときに表示される「簡単セットアップ」から [添付ソフトのマニュアルを見る] → [Disk Director LE のマニュアルを見る] の順に選択すると表示されます。

「Acronis Disk Director LE」の操作方法や製品情報は、下記窓口までお問い合わせください。
※株式会社バッファローでは、「Acronis Disk Director LE」に関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先　 株式会社ラネクシー

【サポート情報】

インターネット：　http://www.runexy.co.jp/support/buffalo.html

TEL： 0570-032-610(携帯電話・PHS では繋がりません)
受付時間　月～金曜日 9:00 ～ 17:00（夏季・年末年始・特定休業日・祝祭日を除く）

※ サポートセンターのご利用にはユーザー登録が必要になります。ユーザー登録をすることにより、バージョンアップ情報やその他ラネクシー製品のお得な優待販売のお知らせなどが届きます。（希望する場合のみ）

【ユーザー登録】

https://www.runexy.co.jp/support/signin.html

※ 登録後、サポートを受ける際に必要になる製品シリアルが発行されます。
※ ラネクシー社のソフトウェアと製品本体（株式会社バッファロー）のユーザー登録は別々に行う必要があります。バッファローのユーザー登録も忘れずに行ってください。

Acronis DriveCleanser

ハードディスク全体や個別のパーティションのデータ、本製品内のデータを完全に削除するソフトウェアです。
Acronis DriveCleanser で削除したデータは、ファイル復旧ユーティリティーなどでも復旧できません。パソコンやハードディスク、本製品の廃棄時など、データを完全に削除したい場合にお使いください。

● **できること**

- ハードディスク全体のデータ完全消去
- パーティションのデータ完全消去
- 本製品全体のデータ完全消去

● **使いかた**

Acronis DriveCleanser のマニュアルを参照してください。Acronis DriveCleanser のマニュアルは、付属のユーティリティー CD をパソコンにセットしたときに表示される「簡単セットアップ」から [添付ソフトのマニュアルを見る] → [Acronis DriveCleanser のマニュアルを見る] の順に選択すると表示されます。

「Acronis DriveCleanser」の操作方法や製品情報は、下記窓口までお問い合わせください。
※株式会社バッファローでは、「Acronis DriveCleanser」に関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先　株式会社ラネクシー

【サポート情報】

インターネット：　http://www.runexy.co.jp/support/buffalo.html

TEL：0570-032-610(携帯電話・PHS では繋がりません)
受付時間　月～金曜日 9:00 ～ 17:00（夏季・年末年始・特定休業日・祝祭日を除く）
※ サポートセンターのご利用にはユーザー登録が必要になります。ユーザー登録をすることにより、バージョンアップ情報やその他ラネクシー製品のお得な優待販売のお知らせなどが届きます。（希望する場合のみ）

【ユーザー登録】
https://www.runexy.co.jp/support/signin.html
※ 登録後、サポートを受ける際に必要になる製品シリアルが発行されます。
※ ラネクシー社のソフトウェアと製品本体（株式会社バッファロー）のユーザー登録は別々に行う必要があります。バッファローのユーザー登録も忘れずに行ってください。

Disk Formatter

Disk Formatter は、ハードディスクなどのドライブ機器 (本製品を含む) を簡単にフォーマットすることができるソフトウェアです。

⚠注意 **Windows Vista をインストールした機器 (ハードディスクや本製品) で使用しないでください。Disk Formatter でフォーマットすると、フォーマット後に Windows が起動しなくなることがあります。**

● できること

- パソコンに増設したハードディスクのパーティション作成やフォーマットが簡単に行えます。MO、スマートメディア、コンパクトフラッシュなどリムーバブルメディアもフォーマットできます。
- 論理フォーマットだけでなく物理フォーマットも可能です。

● 使いかた

Disk Formatter のマニュアルを参照してください。Disk Formatter のマニュアルは、付属のユーティリティー CD をパソコンにセットしたときに表示される「簡単セットアップ」から [添付ソフトのマニュアルを見る] → [Disk Formatter のマニュアルを見る] の順に選択すると表示されます。

付属ソフトウェアのインストール（Windows のみ）

付属のユーティリティー CD には、付属ソフトウェア が収録されています。以下の手順でインストールしてください。

⚠注意 **Acronis TrueImage LE は、「Acronis Migrate Easy」や「Acronis Disk Director LE」より先にインストールしてください。「Acronis Migrate Easy」や「Acronis Disk Director LE」を先にインストールした場合、正常にインストールできないことがあります。**

1 付属のユーティリティー CD をパソコンにセットします。

簡単セットアップが起動します。

※簡単セットアップが起動しないときは、［マイ コンピュータ (またはコンピュータ)］内の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

※ Windows Vista をお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、[BInst.exe の実行] をクリックしてください。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行] をクリックしてください。

2 インストールしたいソフトウェアを選択し、[開始] をクリックします。

以降は画面の指示に従ってインストールしてください。

⚠注意
- **シリアル番号の入力が要求されたときは、ユーティリティー CD に記載されている番号を入力してください。**
- **再起動を要求されたときは、ユーティリティー CD をパソコンから取り出した後、画面に従って再起動してください。ユーティリティー CD をパソコンにセットしたまま再起動すると、Acronis True Image LE や Acronis Migrate Easy が起動することがあります。Acronis True Image LE や Acronis Migrate Easy が起動したときは、ユーティリティー CD をパソコンから取り出してから Acronis Ture Image LE や Acronis Migrate Easy を終了してください。パソコンが再起動して Windows が起動します。**

OS をインストールするときは

パソコンに取り付けた本製品に OS をインストールするときに参照してください。

メモ
- **詳しい手順は OS のマニュアル、またはパソコンのマニュアルを参照してください。**
- **本製品を起動ドライブにしない場合は、OS をインストールする必要はありません。**

ご注意

OS をインストールするときは、以下のことにご注意ください。

● **本書に記載されているインストール手順は一例です。必ず使用しているパソコンと OS のマニュアルを参照してください。**

● **OS をインストールやフォーマットする前に、ハードディスクや本製品の環境をもう一度確認してください。**
OS のインストールやフォーマットをすると、選択したドライブ内のデータはすべて消去されます。誤って大切なデータやプログラムを消去してしまうことのないように、フォーマットするドライブのドライブ名を必ず確認しておいてください。

● **OS のインストールやフォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチを OFF にしたり、パソコンを再起動しないでください。**
ディスクが破損するおそれがあります。また、その後の動作に関しても保証できませんのでご注意ください。

● **フォーマット時の制限について**
Windows Vista/XP/2000 では OS のインストール中に本製品をフォーマットする必要があります。画面の指示に従ってフォーマットしてください。なお、FAT32 形式でフォーマットする場合は、1 パーティションあたりの最大サイズが、32.7GB となります。Windows XP/2000 をお使いの場合は、付属ソフトウェア「DiskFormatter」でフォーマットすれば、32.7GB 以上の容量も 1 パーティションでフォーマットできます。
※フォーマット形式（NTFS、FAT32、FAT16）については、次ページを参照してください。

次のページへ続く

FAT16、FAT32、NTFS の特徴

FAT16、FAT32、NTFS には、それぞれ次のような長所と短所があります。

※ ここでは、各フォーマット形式の一般的な特徴を説明しています。本製品は、Windows Me/98SE/98/95/NT/3.1 、DOS などには対応しておりませんのでご注意ください。

FAT16	長所	Windows 95（4.00.950/4.00.950a）、Windows NT、Windows 3.1、DOS でも使用できる。
	短所	・1 つの領域として確保できる容量は最大 2047MB まで。 ・確保する容量が大きくなるとクラスターサイズも大きくなり、ディスクの使用が非効率的になる。
FAT32	長所	・クラスターサイズが FAT16 よりも小さく、ディスクを効率的に使用できる。
	短所	・Windows 95（4.00.950/4.00.950a）、Windows NT、Windows 3.1、DOS などでは使用できない。 ・1 ファイルの容量は最大 4GB まで。 ・確保する領域が 512MB 以下のときは、FAT16 としてフォーマットされる（FAT32 としてはフォーマットできません）。
NTFS	長所	・1 ファイルが 4GB 以上でも保存できる。
	短所	・Windows Me/98SE/98/95（4.00.950/4.00.950a）、Windows NT、Windows 3.1、DOS などでは使用できない。

パソコン付属の CD-ROM からインストールする

インストール手順はパソコンのマニュアルを参照してください。

⚠注意 **137GB 以上の製品に Windows XP/2000 をインストールする場合は、OS のインストール後に、次ページの「137GB 以上の製品をお買い上げの方へ」の手順を実行してください。実行しないと、データが破損、消滅する恐れがあります。**

メモ OS をインストールした後、本製品内に未使用領域がある場合は、パーティションを作成し、フォーマットしてください。

Windows Vista/XP/2000 のインストール

インストール手順は Windows のマニュアルを参照してください。インストール中にフォーマットが実行されるので、画面に表示されるメッセージに従って操作してください。

インストール手順

Windows を新規にインストールする場合の一般的な手順は、次のとおりです 。

本製品をパソコンに取り付ける

▼

Windows の起動ディスクから起動する

▼

Windows をインストールする【各 OS のマニュアルを参照】

▼

パソコンを再起動する

⚠注意 **Windows XP/2000 で 137GB 以上の本製品をお使いの場合は、OS のインストール後に、次の「137GB 以上の製品をお買い上げの方へ」の手順を実行してください。実行しないと、データが破損、消滅する恐れがあります。**

Mac OS のインストール

インストール手順は、Mac OS のマニュアルを参照してください。

137GB 以上の製品をお買い上げの方へ (Windows XP/2000 のみ)

OS をインストールした後に以下の手順を行ってください

Windows XP/2000 で 137GB 以上の本製品を使用する場合、以下の手順を行わないとデータが破損・消滅する恐れがあります。必ず以下の手順を行ってください。

※ 137GB 未満の製品の場合は、以下の手順を行う必要ありません。

■サービスパックの確認をする

1 **周辺機器→パソコンの順に電源スイッチを ON にします。**

2 **[スタート] メニュー内（Windows 2000 の場合はデスクトップ）の [マイコンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] をクリックをします。**

プロパティ画面が表示されます。

3

Windows XP の場合は「Service Pack 2」以上、Windows 2000 の場合は「Service Pack 3」以上が表示されていることを確認してください。

表示されていない場合は、Windows Update(http://windowsupdate.microsoft.com/) からインストールしてください。

Windows XP をお使いの方は、以上で完了です。
Windows 2000 をお使いの方は、続いて「ユーティリティーを実行する（Windows 2000 のみ）」の手順を行ってください。

■ユーティリティーを実行する（Windows 2000 のみ）

1 **パソコンの CD-ROM ドライブに付属 CD をセットします。**

簡単セットアップが起動します。
簡単セットアップが起動しないときは、［マイ コンピュータ (またはコンピュータ)］内の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2 **「137GB 以上の製品をご購入の方へ」を選択し、[開始] をクリックします。**

以降は画面の指示に従って実行してください。

仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

セクターサイズ	512byte
電源仕様	5V ± 0.25V
消費電力	平均 : 2000mW、最大 : 3750mW
動作環境	温度 0 ～ 70℃　湿度 20%～ 80%（結露なきこと）
インターフェース	SATA 2.5 Specification 準拠 USB 2.0 Specification 準拠
対応機種	シリアル ATA ポートを標準搭載する次の機種 ・DOS/V 機（OADG 仕様） ・Apple 社製 MacBook
対応 OS	・DOS/V : Windows Vista/XP/2000 ・Macintosh : Mac OS X 10.4.8 以降

ハードディスクや本製品の破棄・譲渡・交換・修理時の注意

「削除」や「フォーマット」したハードディスクや本製品上のデータは、完全には消去されていません。お客様が、廃棄・譲渡・交換・修理等を行う際に、ハードディスクや本製品上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクや本製品に記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。
万一、お客様の個人データが漏洩しトラブルが発生したとしましても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
付属の Acronis DriveCleanser を用いてデータを完全に消去するか、専門業者に完全消去作業を依頼することをおすすめします。
詳しくは http://buffalo.jp/support_s/hddata.html をご参照ください。
※ ソフトウェアを削除することなくハードディスクや本製品、パソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約違反になることがありますのでご注意ください。

SHD-NSUM シリーズ ユーザーズマニュアル
2009 年 2 月 19 日 第 2 版発行
発行　　株式会社バッファロー